

留萌地域ナマコセミナーの開催について

留萌開発建設部 留萌港湾事務所

平成 29 年 9 月 25 日(月)に留萌市中央公民館講堂で「留萌地域ナマコセミナー」が開催され、管内の市町村及び漁業協同組合の関係者が約 80 名参加しました。

同セミナーは、水産業を基幹産業とする留萌地域でナマコの増養殖に関する各地域の取組を共有するとともに、ナマコ増養殖の技術力向上の一助にもらうことを目的としており、留萌開発建設部の地域づくりセミナー、(国研)土木研究所寒地土木研究所の技術者交流フォーラム事業の一環として実施しました。

当日は、東海大学海洋生物学科教授櫻井泉氏から「マナマコの資源増大に向けた増養殖研究への取組」について、(株)マルハニチロ上ノ国海産代表加藤卓也氏から「種苗生産に関する最近の話題」について、寒地土木研究所水産土木チーム首席研究員伊藤敏朗氏から「ナマコ研究に関する話題提供」について講演していただ

き、道内各地で行われているナマコの生息状況や環境の調査、種苗放流方法の確立に向けた実験などの成果や課題について、説明していただきました。

また、北日本港湾コンサルタント(株)調査解析部長清野克徳氏から「苫前漁港をモデルとした水域環境改善における『ナマコの活用』について」と題して、国が苫前漁港内で整備を計画しているホタテガイ蓄養水面整備に向けた調査検討のうち、ナマコの天然生息場に関する調査結果や漁港内の蓄養水面予定箇所で開催しているナマコを活用した水域環境改善に関する調査試験成果について講演していただきました。

参加者は、これらの講演を通じて、ナマコの資源増大に向けた取組やナマコを活用した水域環境の改善に関する試験の成果などに理解を深めました。



櫻井 泉 氏



加藤 卓也 氏



伊藤 敏朗 氏



清野 克徳 氏



セミナー会場の様子